

『藏内勇夫 政経セミナー』が開催されました!!

令和4年6月6日（月）、久留米のホテルマリターレ創世において、当協議会会長の藏内勇夫福岡県議会議員（日本獣医師会会長）の『政経セミナー』が開催されました。



藏内会長は、ポストコロナ時代の新たな感染症の発生や防止に向けた取り組みとして「**ワンヘルスの推進**」に取り組まれています。

来賓として、江口勝・福岡県副知事、原口剣生・自民党福岡県連会長、秋田章二・福岡県議会議長と大家敏志・参議院議員（下の写真）を迎えて開催されました。



国学院大学文学部日本文学部の上野誠教授による特別講演が「**新しい資本主義とワンヘルスの思想**」と題して行われました。



蔵内会長は、「政経セミナー：県政報告」の中で、次のように話されました。



コロナがなかなか収束しません。しかし、長いスパンで見ると確実に漸減しています。インフルエンザと一緒に確実に無くならないと思います。

今後、治療薬等が開発されれば、そんなに怖い病気ではなくなります。

人類等に感染するウイルスは60万ともいわれています。わかっているだけでも1500程あります。エボラ、サーズとか、今回のコロナウイルスです。

感染症はいつ来るかわかりません。コビットで苦しんでいるときにサル痘が来ると思いましたか？感染症は非常に怖いものです。新しくやってきたウイルスには、人間は抵抗力がありません。百年前の「スペイン風邪」では5千万人の人間が、「ペスト」では億の人間が亡くなりました。感染症によっては、地球の歴史が変わります。

感染症のパンデミックは、自然災害の中の生物災害です。

人類は生物災害に対する備えが肝要です。

その備えが、ワンヘルスの概念です。



上野教授の音頭で、『生きとし生けるもの、この全ての命と共に』 オー!!!

2022年6月9日

福岡ワンヘルス協議会・事務局